

## 教科目名 英語コミュニケーション演習 (English Communication Exercise)

専攻名・学年 : 全専攻 1年 (教育プログラム 第3学年 ○科目)

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 46.5時間)

担当教員 : 穴井孝義, Tomek Ziembra

授業の概要			
実践的なコミュニケーション能力の向上を目指した演習を行う。毎回、前半は英語力を駆使して Listening と Speaking を中心に据えた、ペアまたはグループ間での実践的なコミュニケーション活動を実施。後半は教材を使つての Listening 演習ならびに Reading 演習を実施。また、コミュニケーションを行う上で不可欠な語彙力・文法力向上のための演習も実施する。後期中間試験以降は、Writing 課題の完成に向けた作業と、それを基にした英語での口頭発表会に向けて実践的な練習を重ねることで、英語でのコミュニケーション力の向上を目指す。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C2), JABEE 目標(f)	
(1) Listening 活動を通し、英語で大意を的確に把握することができるようになる。(定期試験での Listening テスト)			
(2) Reading 活動を通し、英語で大意を的確に把握することができるようになる。(定期試験での Reading テスト)			
(3) 英語の文法や基本的な理工系英単語を多く習得し、自在に使いこなせるようになる。(定期試験と単語小テスト)			
(4) Writing 活動を通し、英語で自分の言いたいことを相手に分かりやすく伝えることができるようになる。(課題 1)			
(5) Speaking 活動を通し、英語で自分の言いたいことを相手に分かりやすく伝えることができるようになる。(課題 2)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	授業オリエンテーション	*コミュニケーション活動: 次の(1)~(6). (1) ペアワークによる英会話練習 (2) 自分の言いたいことが英語で書けて言えるようになるための Show & Tell 活動 (3) Listening 演習 (4) Reading 演習 (5) 語彙・文法演習 (6) 定期的な英単語小テストの実施	【理解の度合い】
2	コミュニケーション活動		
3	同上+小テスト		
4	コミュニケーション活動		
5	同上+小テスト		
6	コミュニケーション活動		
7	同上+小テスト		
8	前期中間試験	応用問題を含む	【試験の点数】 点
9	試験解答と解説	同上 (1~6)	【理解の度合い】
10	コミュニケーション活動+小テスト		
11	コミュニケーション活動		
12	同上+小テスト		
13	コミュニケーション活動		
14	同上+小テスト		
15	前期期末試験	応用問題を含む	【試験の点数】 点
	試験の解答と解説		
16	コミュニケーション活動+小テスト	同上 (1~6)	【理解の度合い】
17	コミュニケーション活動		
18	同上+小テスト		
19	コミュニケーション活動		
20	同上+小テスト		
21	コミュニケーション活動		
22	同上+小テスト		
23	後期中間試験	応用問題を含む	【試験の点数】 点
24	試験解答と解説+課題(1)ガイダンス	*課題(1): Writing 課題の提示と説明	【理解の度合い】
25	Writing 課題への取り組み	*課題(2): Speaking 課題の提示と説明 Writing 課題の原稿を基にした口頭発表会 に向けての実践練習	
26	同上+課題(2)ガイダンス		
27	Speaking 課題への取り組み		
28	同上		
29	口頭発表会(1)&質疑応答		
30	口頭発表会(2)&質疑応答	Speaking 課題の口頭発表会(Part 2)	【試験の点数】 点
	課題(1)と課題(2)のフィードバック		
履修上の注意	英単語の小テスト(1回分の範囲は単語 50 語)を実施するので、真剣に取り組むこと(評価の対象)。		【総合達成度】
教科書	内田雅克, Randy Nelms, 亀山博之著, Interactive English Book for the TOEIC Test Book 1, 松柏社. 亀山太一監修, 「COCET3300」, 成美堂.		
参考図書	英語参考書, 英和(和英)辞書, 配布する会話表現プリント		
自学上の注意	予習時には設問に対し、自分なりの解答を必ず用意しておくこと。復習をして内容を理解した後は、必ず音読を繰り返して行うこと。		
関連科目	英語Ⅳ, 英語Ⅴ, 現代英語Ⅰ, 現代英語Ⅱ		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について 3 回の定期試験と単語の小テスト(10 回)で評価。(4)と(5)については課題提出と口頭発表会を通して評価。 総合評価 = 定期試験 (50%) + 小テスト (10%) + 課題(1)(15%) + 課題(2)(25%)。総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は 1 回のみ実施。		【総合評価】 点